

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
105-100	中学校	音楽科	音楽（器楽合奏）	第1～3学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
17 教出	器楽017-72	中学器楽 音楽のおくりもの		

1. 編修の基本方針

「学びのチカラで 人と社会を 未来へつなぐ」

自ら問い、考え続け、社会を創っていく子どもたちを育てたい。
そのような思いをこめて、私たちはこの教科書をつくりました。



心を豊かに満たす音楽 響きはつながり、羽ばたいてゆく

「中学器楽 音楽のおくりもの」は、教育基本法及び学校教育法の内容や、さまざまな教育課題に対応すべく、「音楽を愛好する心情を育み、豊かな情操を養う教材と学習を設定する」「学習の見通しがもて、学びを深める」「先生方と生徒の一人一人に寄り添って、ご授業を支える」。これら三つの観点を基本方針として編修にあたりました。

特色 1

音楽を愛好する心情を育み、
豊かな情操を養う教材と学習を設定しています。

音楽的な見方・考え方を働かせた学習と、楽器の音色や響きを生かした音楽文化と豊かに関わって学ぶことができる内容にしました。

特色 2

学習の見通しがもて、学びを深めます。

資質・能力を育むために精選された教材と、各楽器に適した学習の進め方を示すことで、主体的・協働的な学びを深められるようにしました。

特色 3

先生方と生徒の一人一人に寄り添って、ご授業を支えます。

さまざまなご授業の実態に応じてお使いいただけるよう、ユニバーサルデザインに配慮し、学習内容をわかりやすい文言と美しいビジュアルで表現しました。

特色 1

音楽を愛好する心情を育み、豊かな情操を養う教材と学習の設定。

楽器の音色や響きを生かした音楽文化と豊かに関わる学び



p.2-3

リコーダーなど表現活動で扱う楽器と、楽器の背景にある文化や伝統を考えるページの写真を掲載。

本教科書で出会う和楽器の演奏に関する写真を掲載。

楽器を通じた人と人とのつながりを生み出す取り組みを紹介。



p.4

音楽的な見方・考え方を働かせた学習を推進するページ



楽器のカテゴリーごとに、各楽器の表現の仕方について、音楽的な見方・考え方を働かせて整理します。

p.30

p.55

学習の見通しがもて、学びを深めます。

各楽器に適した学習の進め方で、主体的・協働的な学びに導く

題材

教材名

活動のポイント

運指図

曲群と音楽の構造との関わりを理解したり、他のパートと合わせて演奏する技能を身につけりしながら、表現を工夫しよう。

左手で吹こう②

チャイニーズ・ダンス

曲の雰囲気を感じ取りながら演奏しよう。

ソプラノ 上の音群を吹く アルト 下の音群を吹く

ソプラノ/リコーダーとアルト/リコーダーは、それぞれ別々に演奏することも、一緒に合わせて演奏することもできます。

金子健治 作曲

SAMPLE

喜びの歌

左手の運指を身につけて表現しよう。

ソプラノ

ペーテ・ヴェン 作曲

アルト

ペーテ・ヴェン 作曲

まなびリンクで
模範演奏を視聴

本題材のまとめの曲

家路 p.12・p.13 のまとめの曲

曲群を感じ取って合わせて演奏しよう。

ソプラノ

Moderato

トビ・グザート 作曲 金子健治 編曲

アルト

Moderato

トビ・グザート 作曲 金子健治 編曲

カノン1

3つのグループに分かれ、最初のグループが「返」にきたら順番に加わります。何回も繰り返して演奏しますが、曲が終わるときは、別のグループが合図をしてそれぞれ終わります。

アルト

自由な声で

金子健治 作曲

オプション教材

先生方と生徒の一人一人に寄り添って、ご授業を支えます。

学習内容を、美しいビジュアルとユニバーサルデザインに配慮した紙面で表現

簡潔な説明文、豊富な
写真、イラストを効果的
に用いています。

姿勢とかま方

唇をすまわずに伸ばします。袖子に唇を当てる、唇もたれに寄りかかったり、唇がふみにっになりしないように注意しましょう。

姿勢・演奏姿勢

唇の下を少し開けて、軽く釘を上げる感じにできます。唇がほぼ水平になるようにします。右手が下がりやすいのを気をつけましょう。

左手 人差し指、中指、薬指の指のほうで握ります。

右手 小指は指のほうから、人差し指と中指と薬指は親指伸ばした状態です。

左手は人差し指の付け根と薬指で軽く挟むように待ちます。

左手の薬指を左の写真のようにするともう方もあります。

●のあたりで握ります

●吹いてみよう

笛を吹くときのポイントは、「**唇**」の(唇のきまり)(口に出てる長さ)(出てる角度)の三つです。右の漫画を用いて実際に唇を出しながら確認しましょう。

口は軽くむく、唇の「唇端」を少し左右に引いてははさむような感じにです。写真のように口を下唇の中央にのせて出すだけで、「フー」というつもりで息を出します。

● 閉じる ○ 開ける

口を唇で全部塞がないように、息は笛の中央に吹き込むのではなく、前に向かって出すイメージです。

同じ高さでも、口を開きすぎるとするとの高さには下がり(●)、口を開けすぎると上上がり(○)。

23

p.23

三味線の音価（おんしやく）と楽法との関わりを理解したり、
調律や基本的な楽法を身につけたりしながら表現しよう。

リラックスしたい姿勢とかまのこづ

ばちを持たないときに、左右でのひらがめ合い合うような形が理想です。

NO!
右手の肘が手首より下になってしまうのはよくありません。

ばちの持ち方は鉛筆を使って練習できます。リラックスした無難な持ち方を確認しておきましょう。

① ② ③ ④

調律法

主な調律である本調子、二上り、三下り、一の糸をロ音にすると次のようになります。 実演はオクターブアップ

本調子 二の糸 一の糸
二上り 二の糸 一の糸
三下り 二の糸 一の糸

三味線の調律法は、基準となる糸の高さで固定されていないので、他の楽器や声に合わせて演奏するときは、それらに応じた音の高さにする必要があります。本調子の場合、次のように調律することがあります。

p.50

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
〈教材選定における配慮〉	○幅広い知識と教養、豊かな情操を培えるように、我が国及び諸外国の音楽から、さまざまな時代や曲種のものを選び、音楽のもつ多様なよさや面白さを感じ取ることができるように配慮しました。(第1号)	・全体
〈教材の配列と扱いにおける配慮〉	○生徒一人一人がその能力を伸ばし創造性を培えるように、教材の配列や扱いに配慮しました。(第2号)	・全体
巻頭 「音楽のチカラで人と社会を未来へつなぐ」	○大震災の被害から修復を経て復興を表すピアノを紹介することで、生命を尊び環境の保全を意識する手立てとしました。(第4号)	・p.4
〈演奏の仕方を身につけよう〉	○身体的に無理なく健やかに楽器を演奏できるように配慮しました。(第1号)	・p.8－63
	○演奏家からのメッセージを掲載し、個人の価値を尊重するとともに、職業としての音楽家を意識できるよう配慮しました。(第2号)	・p.8、p.22、p.28、p.32、p.40、p.48、p.58
	○演奏家からのメッセージが、自他の敬愛を重んずるとともに、公共の精神に基づいている点を重視しました。(第3号)	・p.40
	○我が国の自然や四季の美しさ、暮らしとの関わりを感じ取れる点を重視しました。(第4号、第5号)	・p.18、p.25、p.44－45、p.53
	○伝統的な和楽器の音色や響き、奏法や楽曲の特徴などを感じ取れるよう配慮しました。(第5号)	・p.22－29、p.40－63
	○我が国と西洋の楽器を比較し、音楽文化の共通性と固有性を考える手立てとしました。(第5号)	・p.30、p.55
〈合わせて演奏しよう〉	○合わせて演奏する活動を通して、自他の敬愛と協力を重んずる点を重視しました。(第3号)	・p.64－97
	○美しい自然をイメージして演奏することで、環境の保全を意識する手立てとしました。(第4号)	・p.72－73
	○大震災復興記念事業から生まれた作品を演奏することで、生命を尊び環境の保全を意識する手立てとしました。(第4号)	・p.90－91
〈名曲旋律集〉	○幅広いジャンルの名曲を掲載し、音楽の多様性を感じ取れるようにしました。(第1号)	・p.98－101
〈資料〉	○幅広い知識を身につけられるよう配慮しました。(第1号)	・p.103－107

3. 対照表の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

人権教育・特別支援教育

専門家による校閲を受け、全ての人にとっての学びを保障する「ユニバーサルデザイン」の観点に立って編修しました。

人権教育への配慮

人権を尊重し、あらゆる差別やジェンダーなどについても配慮しています。

カラーユニバーサルデザインへの配慮

紙面全体、文字や図版については、色の組み合わせや濃淡の工夫、また野線や記号・番号、文字の補助を施すなど、色覚の多様性を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。



ユニバーサルデザインフォントの使用

紙面でもデジタル画面でも、見やすく、読みやすいユニバーサルデザインフォントを要所に使用しています。



ESD・SDGsへの取り組み

ESD・SDGsへ対応した教材を設定し、専門家による校閲を受け、関連する内容のマークで示しました。

p.31「吹く楽器の仲間たち」では、世界の諸民族とクラシック音楽の楽器を示すことで、平等な世界の実現への意識づけが図れます。p.56「弾く楽器の仲間たち」では、我が国と世界の楽器を示すことで、平等な世界の実現への意識づけが図れます。

ICTを活用した個別最適な学習への配慮

まなびリンク

紙面上の二次元コードを通じた、良質なデジタルコンテンツ（動画、音声、参考資料）の活用により、学習への意欲を高め、学びを活性化し、確かなものにすることができます。

教科書の紙面では、二次元コード中央のピクトグラム「見る」「聴く」「知る」が目印です。

※インターネット環境によって、ご家庭など校外からもアクセスが可能です。



見る（動画）



聴く（音声）



知る（資料）

コンピュータ（タブレット型等）の活用

発達段階に応じて、コンピュータ（タブレット型等）を効果的に活用できる学習活動を設定しています。

デジタル教科書・教材の発行

教科書と同内容の学習者用デジタル教科書や、動画や音声などを追加した学習者用デジタル教材及び、指導者用デジタル教科書（教材）を発行します。

今日的な教育課題（カリキュラム・マネジメント）への対応

知識・技能の習得と、思考力・判断力・表現力等の育成を図る〈演奏の仕方を身につけよう〉の部分では、学習評価をする「まとめの曲」を〈合わせて演奏しよう〉の教材と入れ替えたり、〈合わせて演奏しよう〉の教材を組み合わせたりすることにより、地域や学校ごとのカリキュラムへの対応が可能です。

編修趣意書

(学習指導要領との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
105-100	中学校	音楽科	音楽（器楽合奏）	第1～3学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
17 教出	器楽017-72	中学器楽 音楽のおくりもの		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

特色 1

音楽を愛好する心情を育み、豊かな情操を養う教材と学習を設定しています。

音楽的な見方・考え方を働かせた学習に導く紙面構成

活動のポイント 〈音楽的な見方・考え方のヒント〉

題材
〈育成を目指す
資質・能力〉

教材の紙面構成例。左ページは「姿勢とかま丸方」の指導と「鍵盤による基本的な奏法」の解説。右ページは「練習曲1」と「練習曲2」の楽譜と演奏のヒント。

本題材のまとめ
〈学習評価をする
教材〉

p.42-43

楽器の名手からの
メッセージ
〈音楽的な見方・
考え方のヒント〉



p.8 リコーダー
「表現を求めて」



p.22 篠笛
「歌うように」



p.28 尺八
「楽器との一体感」



p.32 ギター
「伝えたいこと」



p.40 箏
「心をこめて」



p.48 三味線
「心に響く音」



p.58 太鼓
「広がる響き」

学習の見通しがもて、学びを深めます。

学習指導要領に示された知識や技能を確実に習得できる構成や配列

リコーダー（アルトの場合）

[illegible]

特色 3

先生方と生徒の一人一人に寄り添って、ご授業を支えます。

わかりやすく整理されたデザインで表現活動への意欲を向上

曲想と音楽の構造との関わりを理解したり、ストローク奏法を身につけたりしながら、曲にふさわしい表現を工夫しよう。

コードを押さえよう

いくつかの音が同時に鳴ることをコード（和音）といいます。コードネームは、英語の音名（C、D、E、F、G、A、B）と数字などを組み合わせた、各コードの構成音を表す記号のことです。

G 3rd (オープンG) D7 3rd (オープンD) C 3rd (オープンC) E 3rd (オープンE)

一つのコードに対して、いろいろな押さえ方があります。また、用いるコードのつながり方によって次のコードに移りやすい速指を用いる場合があります。

ストローク奏法

左手でコードを押さえ、右手で何本かの弦を同時に弾くことをストローク奏法といいます。一般的にクラシック・ギターでは撥を、フォークギターではピックを使って弾きます。

ダウン・ストローク アップ・ストローク ピックと持ち方

視察とまじり指で「OK」のような形をつくらせて弾く場合

ダウン・ストローク アップ・ストローク

視察で弾く場合

カントリー・ロード

コードと旋律の響きを感じ取って演奏しよう。

「カントリー・ロード」のコードと旋律の響きを感じ取って演奏しよう。

SAMPLE

p.36のコードの押さえ方とリズム・パターンを参考に、コードをストローク奏法で弾きます。旋律は歌、またはリコーダーで演奏してみましょう。

深めてみよう チューニングを覚えて不思議な響きを体験してみよう！

次の音に合わせてチューニングをし、開放弦のままストローク奏法で弾いてみよう。

第3弦 第3弦 第3弦 第3弦 第3弦 第3弦

p.36のチューニングと比べて、どのような感じがするかな？

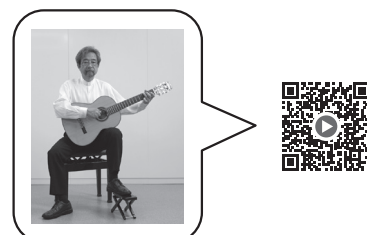
p.81「どこかの街で」不思議な旋律PART-2の旋律に合わせてストローク奏法で弾いてみよう。この旋律に合うリズム・パターンを工夫してみよう。

どこかの街で 不思議な旋律PART-2

SAMPLE

豊富な写真とキャラクター（イラスト）を用いた解説。

学習に役立つ情報を集めたウェブサイト〈まなびリンク〉では、模範演奏を視聴できます。



学びを深めるための活動

さまざまな楽器で多様な音楽を表現できる合奏教材を掲載

例：「寄せの合方（三味線とお囃子）」「サザエさん（アルト・リコーダー）」「春（ソプラノ・リコーダー）」「こきりこ節」（箏）「千の海響 望の章（太鼓）」

長唄「動進様」から 寄せの合方

二味線 三味線 太鼓

75

p.75

サザエさん

76

SAMPLE

p.76

春（四季）から

79

SAMPLE

p.79

こきりこ節

84

SAMPLE

p.84

千の海響 望の章

90

SAMPLE

p.90



観点	内容の特色（該当箇所掲載）
知識及び技能の習得	教科書前段〈演奏の仕方を身につけよう〉では、各楽器、原則見開き左上に題材を表しました（p.10－21、p.24－25、p.28－29、p.34－39、p.42－45、p.50－53、p.60－63）。
思考力、判断力、表現力等の育成	教科書前段〈演奏の仕方を身につけよう〉では、各楽器、原則、見開きごとに「まとめの曲」を示し、表現の工夫を見て取れるよう配慮しました（p.10－11、p.24－25、p.28－29、p.34－35、p.42－43、p.52－53他）。
主体的・協働的で深い学び	生徒が主体的・協働的に学習を進め、すすんで学び合うための活動「表現の仕方を調べてみよう」を示しました（p.30、p.55）。
系統性	中学校3年間を通して、学習指導要領に示された知識や技能の確実な習得を目指し、教科書前段を〈演奏の仕方を身につけよう〉に、後段は合奏を主体とした表現活動〈合わせて演奏しよう〉としました。
配列・分量	精選された教材を適切に扱える分量で、〈題材〉〈活動のポイント〉と合わせて配列しました。
演奏の仕方を身につけよう （リコーダー～太鼓）	- 習得を目指す知識・技能と教材の難易度が適合するように配慮しました（p.8－p.63）。 - 箏では表現活動から創作につながる教材を示しました（p.46）。
合わせて演奏しよう	- さまざまな楽器で多様な音楽を表現できるようにしました（p.64－97）。 - 構成を工夫したり、即興的に旋律を創作したりする教材を掲載しました（p.72、p.74、p.81、p.96）。
伝統・文化の尊重	我が国の伝統音楽の特徴と多様性について配慮しました。
国際理解	我が国の楽器と諸外国の楽器について、楽器の背景にある文化や伝統、流通や貿易との関わり、材質との関わり、生活様式との関わりについて考える教材を示し、国際理解が深まるよう配慮しました（p.31、p.56－57）。
生活や社会とのつながり	音楽を通じて人と人とのつながりを生み出す取り組みを紹介し、生活と社会のつながりについて考えられるよう配慮しました（p.4）。
教育基本法との対応	第二条第1号～第5号に適合するように編修しています（教育基本法との対照表をご参照ください）。
ICT 機器の活用	紙面に掲載した二次元コードで、生徒の使用する端末からインターネットを使って容易に閲覧できる動画・音声・参考資料をウェブサイト〈まなびリンク〉に用意しています。
特別支援教育・ユニバーサルデザイン	専門家による校閲を受け、全ての人にとっての学びを保障する「ユニバーサルデザイン」の観点に立って編修しました。
ESD・SDGs への取り組み	我が国と世界のさまざまな楽器を示すことで、平等な世界の実現について意識できるようにしました（p.31、p.56－57）。
文字、印刷、製本	- 文字は見やすさを第一義に、字体、字間、行間に配慮しました。 - 印刷は鮮明さと見やすさを、製本は長期の使用に十分に耐えられることを第一義に取り計らいました。

2. 対照表

教材	該当箇所	A 表現												B 鑑賞						共通事項		他教科との関連等						
		(1) 歌唱						(2) 器楽						(3) 創作						(1) 教材						(1)		
		ア	イ		ウ		ア	イ		ウ		ア	イ		ウ	ア			イ				ア	イ				
			ア	イ	ア	イ		ア	イ	ア	イ		ウ	ア		イ	ウ	ア	イ	ウ								
〈演奏の仕方を身につけよう〉リコーダー	p.8～21						○		○	○	○													○	○			
ブランデンブルク協奏曲（鑑賞）	p.21															○			○					○	○			
〈演奏の仕方を身につけよう〉篠笛	p.22～26						○		○	○	○													○	○			
長唄「越後獅子」（鑑賞）	p.30																	○	○			○	○	○				
〈演奏の仕方を身につけよう〉尺八	p.28～29						○		○	○														○	○			
尺八曲「鹿の遠音」（鑑賞）	p.30																	○	○			○	○	○				
〈演奏の仕方を身につけよう〉ギター	p.32～39						○		○	○	○													○	○			
カントリー・ロード（歌唱）	p.37	○	○		○																			○	○	英語		
アランブラの思い出（鑑賞）	p.55																	○	○					○	○			
〈演奏の仕方を身につけよう〉箏	p.40～47						○		○	○	○													○	○			
さくらさくら、荒城の月（歌唱）	p.44、p.45	○	○		○																			○	○			
「荒城の月」の前奏をつくってみよう（創作）	p.46											○	○		○									○	○			
さくら変奏曲（鑑賞）	p.47															○			○			○	○	○				
〈演奏の仕方を身につけよう〉三味線	p.48～54						○		○	○														○	○			
さくらさくら（歌唱）	p.53	○	○		○																			○	○			
長唄「秋色種」から 虫の合方、 長唄「鞍馬山」から セリの合方、 長�「勧進帳」から 寄せの合方（鑑賞）	p.54、p.55															○		○	○			○	○	○				
〈演奏の仕方を身につけよう〉太鼓	p.58～63						○		○	○														○	○			
Let's Play! もみじ	p.64	○	○		○		○	○	○	○	○													○	○			
Let's Play! 故郷	p.65	○	○		○		○	○	○	○	○													○	○			
Let's Play! 故郷の人々	p.66						○	○	○	○	○													○	○			
Let's Play! シチリアーナ	p.67						○	○	○	○	○													○	○			
Let's Play! カントリー・ロード	p.68～p.69	○	○		○		○	○	○	○	○													○	○	英語		
Let's Play! 木星	p.70～p.71						○	○	○	○	○													○	○			
Let's Play! 一番星みつけた／夜空を見上げて	p.72～p.73						○		○	○	○	○	○	○	○									○	○			
Let's Play! どこかの街で 不思議な旋律 PART-1	p.74						○		○	○	○	○		○	○									○	○			
Let's Try! 長唄「勧進帳」から 寄せの合方	p.75						○	○	○	○	○													○	○			
Let's Try! サザエさん	p.76						○	○	○	○	○													○	○			
Let's Try! 風のとおり道	p.77						○	○	○	○	○													○	○			
Let's Try! 風笛	p.78						○	○	○	○	○													○	○			
Let's Try! 春	p.79						○	○	○	○	○													○	○			
Let's Try! ホール・ニュー・ワールド	p.80						○	○	○	○	○													○	○			
Let's Try! どこかの街で 不思議な旋律 PART-2	p.81						○		○	○	○	○	○	○	○									○	○			
Let's Try! さくらさくら（箏二部）	p.82～p.83						○	○	○	○	○													○	○			
Let's Try! こきりこ節	p.84～p.85						○	○	○	○	○													○	○			
Let's Try! ものけ姫	p.88～p.89						○	○	○	○	○													○	○			
Let's Try! 千の海響 望の章	p.90～p.91	○			○	○	○	○	○	○	○	○		○	○									○	○			
Let's Try! ライディーン	p.92～p.93						○	○	○	○	○													○	○			
Let's Try! ジョイフル コンビネーション1、2	p.94～p.95						○	○		○	○													○	○			
Let's Try! 楽器と唱歌によるパッチワーク	p.96～p.97						○	○	○	○	○	○		○	○									○	○			
名曲旋律集	p.98～p.101						○	○	○	○														○	○			

編修趣意書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学校	教科	種目	学年
105-100	中学校	音楽科	音楽（器楽合奏）	第1～3学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
17 教出	器楽017-72	中学器楽 音楽のおくりもの		

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や内容の取扱いに示す事項	ページ数
31	吹く楽器の仲間たち	2	○内容の取扱い 2-(3)-イ 各学年の「A表現(2)器楽」の指導 (上記の項目では、指導上の必要に応じて用いる楽器について記されているが、本コーナーでは、管楽器及び世界の諸民族の楽器の、背景にある文化や伝統、構造について調べる学習とした。)	1
56	弾く楽器の仲間たち	2	○内容の取扱い 2-(3)-イ 各学年の「A表現(2)器楽」の指導 (上記の項目では、指導上の必要に応じて用いる楽器について記されているが、本コーナーでは、我が国と世界の楽器の形に着目し、「流通、貿易」「材質」「生活様式」の観点で調べる学習とした。)	2
合 計				3

(「類型」欄の分類について)

- 1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容
- 2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容